

みどりのかせ

学校だより 令和5年6月30日号
草津市立笠縫小学校
Tel(077)562-0352
Fax(077)566-1195

きょういくもくひょう あす い がっこう あ とも せんせい こころま じゅぎょう
教育目標「明日も行きたい学校 会いたい友だち・先生 心待ちの授業」

タブレット端末 (iPad) の家庭学習利用が始まっています！

6月に入り、タブレット端末を持ち帰り、家庭学習で利用する取組が始まりました。A Iドリルの活用や、家庭での調べ学習、学校と家庭での学習成果の往還など、様々な形で利用を進めているところです。

さて、草津市では、以前からICT教育に力を入れており、「G I G Aスクール構想」をもとに、令和2年度に1人1台のタブレット端末の整備、令和3年度にネットワークの強化など、早くからICT環境が整えられてきました。今年度からは、新たな協働学習ソフトやA Iデジタルドリルの導入など、より一層充実した環境となっています。

思い返せば、学校でのICTの利用についてはかなり以前から進められています。30年ほど前には、学校にコンピュータ室が設けられ、学習での利用法に試行錯誤した記憶があります。当時はネットワーク環境も十分でなく、インターネットを使った授業を参観した際に、次の画面が表示されるまでに10分近くかかり、みんなでじっと息を凝らして画面を見つめていたのは、今となっては笑い話です。

子どもたちを取り巻くICT環境は、急激な変化を遂げています。最近では、対話型人工知能(A I)「チャットG P T」などの生成A I利用のため、文部科学省の学校向けの指針の原案が判明したとの報道もされています。その中には、使いこなす力を意識的に育てる姿勢の重要性や、高度なプログラミングでの活用などの有用性ととも、批判的指向や創造性への影響など、リスクもいくつか挙げられています。

このように、学校で1人1台の端末が利用できるようになり、情報があふれ、子どもたち誰もが容易に多くの情報を得られる環境が整った今だからこそ、その利用にかかる情報モラルや情報リテラシーについて、再度子どもたちと確認していく必要があると感じています。

これは前任校での話ですが、教室をのぞくと、1人の児童がタブレット端末で、ゲームセンターにあるような対戦型格闘ゲームをしていました。私は、「学校のルールを守っていないから止めよう。」と注意しました。しかし、「全部、自分でプログラミングして作った。」という児童の言葉に、思わず感嘆の声をあげてしまいました。動画や本などで調べてプログラミングし、キャラクターも自分で描いて作ったのです。学校のルールでは、空いている時間などに、自分でプログラミングして作ったゲームを自分で遊ぶことは認められていたので、しっかりとルールは守っていたのです。その子の新たな可能性を感じる事ができた瞬間でした。

子どもたちの教育には、学習に向かえる環境が整っていることも大切な要素の一つです。整ったICT環境を最大限に生かして、子どもたちの未来の可能性を広げるためにも、学校と家庭が協力して、情報モラルや情報リテラシーなど、正しい利用方法やスキルを身につけさせていきましょう。そのために、家庭へのタブレット端末持ち帰りの際には、お子さんの利用の仕方について見守りと、正しい利用についての言葉がけをお願いします。



学校でのタブレット端末の活用

3年 音楽科

3年生は音楽科の学習で、旋律づくりの学習をしました。前時の授業でタブレット端末に配信された楽譜に音階を書き込み、次の授業では自分で作った楽譜を見ながら、鍵盤ハーモニカで弾く練習をしました。1人1台端末のおかげで、前回までの学習の記録を各々データで残して、次の時間からも有効に活用することができます。



5年 社会科



5年生の社会科の学習で、食料の産地調べを行いました。広告に載っている食材で産地の分かるものを切り取り、農産物と、畜産物・水産物の二つのグループに分けて大きな地図に貼りました。産地マップができたなら、次はカメラで撮ったデータを各自のタブレット端末に送信して、食材の産地の特徴や気づいたことなどを調べていきます。子どもたちはタブレット端末の特徴を生かして、図を拡大して細かな品目などを確かめたり、広角で見ると全体の傾向を確かめたりしながら、気づいたことをノートに書き出していました。

2年 算数科

2年生の算数科の学習で、水のかさ（量）を比べる学習をしました。教師が提示した量り方では、正確に比べることができないことに子どもたちは気づき、正確に比べるために必要なことをプリントに書きました。プリントに書いたことをタブレット端末で撮り、協働学習ソフトで送信し、意見を比較しました。新しい協働学習ソフトの使い方にもすっかり慣れ、学習のツールとしてタブレット端末を活用する力が、2年生にも徐々に身につけていきます。



自分たちの学校 笠縫小学校

正門の池の周りや体育館横など、夏の花の苗が植えられ、笠縫小学校が彩り豊かになりました。それらは花壇整備ボランティアの皆さんが植え替えの準備をしてくださり、環境美化委員の子どもたちと一緒に植えたものです。ところが、残念なことに、苗が植えられている池の周りに平気で乗ってしまう子が何人かいます。注意をしても、自分がしたいこと優先でなかなか降りようとしないので、そうした子たちには、たくさんの方の笠縫小学校を良くしたいという思いがあってこの花を植えていることを伝えるようにしています。また、中庭ではゴーヤのために設置した紐が何本か切れていました。このままでは成長の様子を観察できないため、朝早くから理科担当の先生が直していました。運動場では、設置しているベンチの足に強い力がかかったのか、外れてベンチが倒れていました。それも気づいた先生が直していました。管理補助員も破れたネットの修繕など、壊れた物の修繕を日々行っています。たくさんの方々が笠縫小学校を大切にしたい、より良くしたいという思いで支えてくださっていることを、子どもたちには伝えたいと思います。ご家庭でも、



自分たちの学校を大切にしたいという思いをお話していただければと思います。

